

闇と光

9th Tanto International Art Festival in Omuta



2021.11.2 (Tue) - 11.7 (Sun)

鑑賞時間：9:30-17:00 **作品鑑賞無料**

会場：大牟田市石炭産業科学館 2F オリエンテーション室 (〒836-0037 福岡県大牟田市岬町 6-23)

インスタレーション

11/2(Tue)-11/7(Sun) 会場のガラス面を使ったインスタレーション

アートワークショップ

11/3(Wed) 粉炭絵の具のドローイング／参加費 1,000 円

ライブパフォーマンス

11/7(Sun) 実験音楽とコンテンポラリーダンスによるライブパフォーマンス

詳細は Web サイト
をご覧ください▼

本企画は、公益財団法人 福岡文化財団 2021 年度助成を受け実施しています。

※ 会場の開館時間は、大牟田市石炭産業科学館の開館時間に準じます。

※ ワークショップは、新型コロナウイルス感染症対策のため、人数制限を行う場合があります。詳細は裏面をご覧ください。



かつて、この地では、炭坑夫たちが石炭を掘るために、深い地の底に潜っていました。一度潜ると、もう二度と目にすることができないかもしれない光という存在。炭坑夫たちの目にうつる光は、きっと特別なものだったのではないかと想像します。近代化が進む激動の時代、社会が持つ強いエネルギーの渦中に、様々な先人たちの生き様が存在していました。その先人たちの生き様から感じるのは、何より生きることに対する強いエネルギーです。今、私たちが生きる時代は、VUCAの時代と言われるように複雑で解決が困難な問題が絡み合い、先の見えない闇の中を歩んでいるようです。未曾有の自然災害、いつ何が起こるか予測不可能なこの時代、闇があるからこそ、感じる光、光があるからこそ、存在する闇、それらをどう捉え、先の未来を歩いていくのか、作品の創造プロセスを通じて、持続可能な地域社会のあり方を考える契機とします。

Installation / インスタレーション

11/2(Tue)-11/7(Sun)



江上 計太 / Keita Egami

1951年大牟田市生まれ。ミニマルミュージックに影響を受けた幾何学形体で構成した作品を制作。第7回福岡県文化賞受賞。
 個展：2008年「NINAI展」大牟田商工会議所別館（大牟田市）、2016年「IN MY IMAGINARY ROOM 江上計太の部屋2」ART HUB 三樹荘（福岡市）、2019年「Room-Jack in Calamari Inc. 江上計太の部屋3」カラマリ・インク（福岡市）など。
 グループ展：2016年「美術×音楽 福岡県立美術館コレクション展」九州芸文館（筑後市）、2021年「移動美術館展 おおむたアートミュージアム」大牟田文化会館（大牟田市）など。



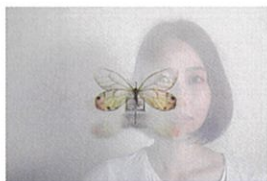
ArtWorkshop / 粉炭絵の具のドローイング

11/3 (Web)



石炭の粉（粉炭）を絵の具にして、自由に絵を描くワークショップです。粉炭絵の具がみせる様々な表情をお楽しみください。

- ・材料費 1,000円
- ・申込不要（材料がなくなり次第終了）



松下 愛 / Ai Matsushita

1983年 神奈川県生まれ
 細密画制作、「こどものアトリエ」主宰
 さまざまな素材や画材、自然物に触れながら、子ども一人ひとりが対等かつ自由に表現できる「場」を運営。年齢や障がいの有無に関わらず一緒に制作活動をおこなっている。

画歴

- | | |
|--------------------------|--------------------------|
| 2012 新制作展第76回 国立新美術館 | 2014 ギャラリーモリモトグループ展 |
| 2012 第17回荒尾総合美術展 教育長賞 | 2020 ACTアート大賞展 |
| 2013 第8回タグポートアワード | 2020~2021 日本国際水彩画展画 招待出展 |
| 2013 「TAGBOAT@Bunkamura」 | 2021 カフェギャラリー cotton 個展 |
| 2013 Tokay Gecko Award | 2021 躍動する現代作家展 優秀賞 |



梶原 慶子 / Keiko Kajihara

一般社団法人 haretokelab 代表理事
 日常も非日常も "日々"。
 アートイベントやワークショップ企画・運営などに関わりアートとデザインを通じた家族や社会との関係性の再構築をテーマに活動。
<https://haretokelab.art/>

Performance / 実験音楽とコンテンポラリーダンスのパフォーマンス

11/7(Sun) 16:30-



竹永 省吾 / Shogo Takenaga

1978年 福岡生まれ
 2001年からCDJ(DJ用CDプレーヤー)を使用した独自の演奏によるライブ活動を開始する。
 2017年、アジアミーティングフェスティバルの福岡公演に出演。2019年、ベトナム/ハノイで開催された Dao Xuan Festival に出演。自身の演奏活動や大牟田ふじ主催により、国内外のアーティストと交流を深めている。2020年、写真を撮り始める。2021年、写真パネルの立体作品を制作し、熊本 tukimi にて初個展「PAUSE」を開催。



野中 香織 (Sora) / Kaori Nonaka

10年間ショーダンサーとして活動後、バックダンサーや舞台作品への出演、各地芸術祭への参加など多方面に活動の場を広げる。2018年9月、一般社団法人「ハラカダンス」を設立。あらゆる現場で目の当たりにする、垣根を超えた生き様のダンスに魅了され、医療、福祉、教育現場でのダンスの可能性を追究中。最近では、実験をつくるプロジェクトにも参加。その場、その時、その身体に耳を傾ける即興家。

第9回炭都国際交流芸術祭 in 大牟田 haretokelab 特別企画展

本企画は、公益財団法人 福岡文化財団 2021年度助成を受け実施しています。

問い合わせ先：炭都国際交流芸術祭 in 大牟田 haretokelab 特別企画展担当 梶原

Tel : 070-8310-8092 / Mail : info@haretokelab.art

詳細は Web サイト
 をご覧ください ▶

